

東京都立立川高等学校 OG を中心に 女声で「白き花鳥図」を歌う会 団員募集のお知らせ

～「タダタケ」を私たちも歌いたい!というOGの皆さん、
期を超えて、一緒に歌いませんか?～

2017年に逝去された作曲家・多田武彦氏は、その生涯の中、多数の合唱曲、とりわけ数々のすぐれた無伴奏男声合唱作品をのこされました。

立川高校でも、組曲「富士山」をはじめとする多くの名曲は歴代愛唱され、2019年10月開催の第3回玲瓏の水合唱祭においても、期を問わない有志合唱として披露されました。また氏による混声合唱曲も、組曲「わが心の詩」「太海にて」などより、多くの楽曲が長年、合唱祭の定番曲としても愛されました。

しかし、特に女声(女性)にとっては残念なことに、女声合唱曲については、作品はわずかながら存在するものの楽譜の入手が困難な状況が長く続いていました。

1964年に同声合唱曲(ピアノ伴奏付き)として生まれ、その後1982年、無伴奏混声合唱作品として編成しなおされた組曲『白き花鳥図』(作詩・北原白秋)の構成曲(「黎明」「老鶏」ほか)は立高生徒にもたいへん人気を博し、合唱祭や有志合唱などでも頻繁に歌われてきました。1992年には無伴奏男声合唱版も編曲されています。

その名曲が、2001年にピアノ伴奏付きの女声合唱曲として改めて編曲しなおされ、2006年に音楽之友社から刊行されています。

多田武彦作品を愛した私たち立川高校の卒業生が、在学当時にできなかった、「ピアノ伴奏付き女声合唱」という演奏形態で、多田武彦作品を歌ってみたいと考え、結成したのがこのたびの合唱団です。

参加要項は以下の通りです。

【参加資格】

◆東京都立立川高等学校の関係者であること。

東京都立立川高校の卒業生であれば、卒業期は問いません。

在学中留学などの理由で立高を卒業されていない方もご相談ください。

また、かつて教職員として立川高校に在籍されていた方々、現在在籍されている方々も歓迎いたします。

立川高校在校生で参加を希望される方は、学業および学校行事を優先するという条件のうえ、保護者が了承されている方であれば歓迎いたします。

【練習・舞台での発表機会について】

◆練習は、通常は1～2か月に1度を想定しています。舞台に立つことが決まりましたら、それに向けての練習スケジュールを改めて設定します。

当面の目標は、2024年10月5日（土）に予定されている第4回玲瓏の水合唱祭です。（審査の対象外での参加です）土日祝のうち、6～7月は1回ずつ、8～9月は2回ずつレッスンを設ける予定です。**※玲瓏の水合唱祭への参加費として1人¥3000徴収いたします。**

【参加にあたってのお願い】

◆『白き花鳥図』（女声合唱版、音楽之友社刊）の楽譜は必ず購入してください。

合唱界はもとより音楽界、出版界の今後の発展、継続のためにも、著作権者および版權者への敬意をもって音楽活動を行います。音楽愛好家たちが、自分たちが楽しむためのしかるべき対価を権利者たちにきちんと支払うことは、未来にわたり私たちが音楽の喜びを享受しつづける環境を守ることに繋がります。ご理解ください。

『白き花鳥図』は受注生産（オンデマンド版、5冊以上から）のため、通常店頭にはありません。購入希望の方は主宰者（40期石川）にご連絡いただけたらまとめて注文・購入します。定価の10%オフになります。

『女声合唱組曲 白き花鳥図 [オンデマンド版]』（音楽之友社刊）北原白秋 詩／多田武彦 作曲
【ISBNコード】9784276978508 本体価 1,910円＋税

【参加方法・問い合わせ】

◆主宰者（高校40期 石川）にメールにてご連絡ください。

tachikou.og.tdtk@gmail.com

★参加申し込みについて

参加希望の方は、①氏名 ②卒業期、または立川高校勤務時期、在籍時期など ③希望パート（ソプラノ／メゾソプラノ／アルト） ④こちらからの連絡のためのメールアドレス ⑤電話番号（携帯でも自宅でも） ⑥楽譜の購入方法（自分で購入するか／主宰者に注文を依頼するか）をご記載ください。

※個人情報主宰者が管理し、この合唱団の活動以外の目的では使用しません。

★連絡にあたってのご注意

携帯メールからですと、こちらからの返信がはじかれる場合がございますので、上記メールアドレスの受信設定をされたうえご送信ください。お問い合わせ後3日経っても返信がない場合、こちらからの送信ができない状況だと思われます。いまいちど、受信設定をされて送信してください。また、その際、念のため、連絡のとりやすい電話番号をご記載ください。

★参加を迷われている方へ

上記メールに疑問点などをお送りください。子どもがまだ小さい、練習にどのくらい出られるかわからない、音楽が得意ではない、立高関係の演奏会（玲瓏の水合唱祭）のみ参加したい…など、それぞれご事情があると思います。簡単なFAQもご用意したので次ページよりどうぞ。

主宰者：石川景子（細谷景子）高校40期 立高では音楽部所属。

片山絵奈美 高校40期 立高では吹奏楽部。大学～現在にいたるまで合唱団に所属。

【FAQ】

**Q1 練習はいつから開始しますか？ 頻度はどのぐらいでしょうか。
一回のレッスンの時間は？**

A1 2024年2月から開始しています。月1回程度、1回のレッスンは2時間ぐらいです。本番が決まっている場合、直前1~2か月ぐらいは月2回になる予定です。

Q2 練習場所はどこですか？

A2 JR 中央線立川~中野の範囲で、できるだけ中央線から徒歩圏内のレッスン会場を確保したいと考えています。今のところ杉並区内の施設が多いです。

Q3 会費はかかりますか？

A3 通常レッスンの範囲では、実費のみ（レッスン会場費分担など）。

舞台での発表機会が決まったら、それにまつわる衣装代などがかかる場合があります。ただし、あくまでもアマチュアの団ですので、負担が大きいと思われること（レンタル料の高い会場使用や高額な衣装）は極力避け、多くの方が続けやすいと感じる範囲で運営していきたいと考えています。 ※2024年第4回玲瓏の水合唱祭の参加者は1人¥3000 参加費が必要。

なお、【参加にあたってのお願い】にも記載いたしましたが、正規の楽譜購入をお願いいたします。主宰の石川を通して購入いただきますと10%割引になります。

※ご自身が購入した楽譜を、自分や家族が私的に使用する範囲でコピー（複製）をすることは法律で認められています。

Q4 指導者、伴奏者はプロの方ですか？

A4 いいえ、現時点ではいずれもプロの方（音楽活動を職業としておられる方）にはお願いしておりません。学生指揮者がレッスンをひきいて、学生の伴奏者がピアノを弾いていた高校時代のクラブ活動、あるいはチーフと指揮者がクラスをまとめていた合唱祭の練習と同じようなイメージでとらえてください。

指導者というかたちではなく、「レッスンリーダー」として、アマチュアである主宰者（合唱、声楽経験者）が、まずはレッスンを牽引していきたいと考えています。

伴奏ピアニストは、参加者の中で複数の方をお願いしたいと思っています。

※ピアニストの方、大募集中です。

Q5 多田武彦先生の曲しか歌わない予定ですか？

A5 合唱団結成の最初の目標として、多田武彦氏作曲の女声合唱版『白き花鳥図』を歌う、ということを設定していますが、将来的には別の選択肢もあるかもしれません。

ただし、参加者には主婦の方、お勤めの方、不規則なお仕事の方、子育て・介護中の方…さまざまな方がおられることを鑑み、最初は練習回数も含め、無理のない範囲でスタートする予定です。

Q6 参加したいのですが、子どもがまだ小さいので残念です……。

A6 レッスン会場まで一緒にいらっしゃることができるのでしたら、お子様連れでもぜひご参加ください。子育て中の女性が参加者、参加希望者に多く含まれることは想定しており、お子様のことについてはできるだけ配慮したいと考えています。また、お留守番ができる年齢のお子様でも、子どもと一緒に歌ってみたい、と思われましてらぜひ連れていらしてください。合唱のよろこびを次世代に伝えるチャンスです！

(ただし、お子様の安全の確保については、保護者の方が責任を持たれてください。練習途中抜けなどは気になさらず、お子様優先で行動されてください)

Q7 レッスンに毎回参加できないとだめですか。あまり時間がつくれそうにありません……。

A7 そんなことはありません。舞台上で発表する予定があるときは、それに向けて最低限のレベルに達するための努力はお願いしたいのですが、そのときはまた改めてご相談しましょう。そうでないときには、「昔の仲間や立川高校の思い出を共有できる人たちと一緒に歌いたい」お気持ちだけで十分です。

ただ音取りなど、曲を歌うにあたっての最低限のことができていないと「一緒に歌うことを楽しむ」気持ちにまでなるのがなかなか難しいので、それは各自で可能な範囲で練習をなさってください。音取り用パート別音源は提供いたします。毎回の参加でなくても楽しめるレッスンを心がけたいと思います。

Q8 音楽があまり得意ではありません。レッスンについていけるか不安です。

A8 参加を検討されているあなたが、立高在学当時、合唱祭の練習にまあまあそこそこ真面目に参加し、当日本番でロパクではなく歌えていらしたのなら何も不安に思われることはありません。必要なのは、曲の創作者（詩人と作曲家）に対する敬意と合唱への情熱と立高への愛情です。

Q9 自分が求めるレベルの合唱団であるか、確認してから参加したいのですが……。

A9 大切なことですね。たとえば、ある程度以上の水準の音楽活動を求めておられる方には、この合唱団は物足りなく感じられるかもしれません。あるいは、その反対ももしかしたらあるかもしれません。

ぜひ一度レッスンを見学なさるか、または試しにレッスンに参加なさってください。それで「違うな」と思われたら、その後のレッスンに参加されなくてももちろん構いません。また、数回参加された後に不参加を選択することも自由です（何かの本番に向けてのみの参加でも構いません）。入会金などはございません。アマチュアにとって、音楽とは文字通り「音を楽しむ」活動であるべきで、またアマチュアであればなおさら、自分の求める「楽しめる」レベルは自ら選択するべきだと思います。

ただ主宰者としては、せっかく「独り」ではなく「だれかと一緒に」音楽をするのです

から、アマチュアなりに、自身の努力と周囲との協力・協調により、「上達」のよろこびを感じられる合唱団にしたいと思っています。

現時点でイメージしている目標レベルを分かりやすく表現すると、「現役のときの立高の合唱祭に出たとしたら、入賞できるような演奏を目指す」です。

それはもちろん、全国コンクール入賞レベルの演奏ができるに越したことはありませんが、立高合唱祭で入賞するほどまで完成度を高めたクラスの演奏もまた、それぞれがすばらしく、感動した記憶はありませんでしょうか。

ほとんどのクラスの大半のメンバーは合唱経験がさほどなかったはずで、練習期間も1か月程度だったはずです。それでも、あれだけの演奏が可能だったのです。

このクラスは選曲を工夫したんだな、時間をみつけてみんなで練習したんだな、団結したんだな、と感じるような、今でも心に残っている演奏はございませんか？ そういう演奏を目指したいと思います。(念のためですが、入賞、というのはあくまでも分かりやすい目安としての例であり、入賞がかなわなかったクラスですばらしい演奏はたくさんあったと思っています)

Q10 在校生ですが参加したいです。

A10 学業、学校行事を優先し、保護者が了承している方であれば歓迎します。ただし、夜遅い時間帯にかかるレッスン、レッスン後にお酒が入る席がある場合などは遠慮していただくこともあります。

Q11 今後のレッスンの構想を教えてください。

A11 『女声合唱組曲 白き花鳥図』の構成曲は、混声合唱版、男声合唱版と同じで、I 黎明 II 数珠かけ鳩 III 白牡丹 IV 鮎鷹 V 老鶏 VI 白鷺 の6楽曲です。(ただし、VIの白鷺は混声版、男声版ではソロパートがありますが、女声版にはソロはありません)

現時点では、レッスンは楽譜掲載順にすすめていきたいと思っています。現在の構想ですが、1年間に2~3曲ずつぐらいのペースで音取をレッスン内ですすめていくようなイメージです。仕上げ方については参加者の様子をみながら、また本番予定に合わせてとなると思います。ただし、参加者の多くに強い希望があれば(たとえば、「老鶏」を早く歌いたいからなるべく先にやってほしい、など)、練習の順番を変える可能性はあります。ひとつの大きな目標としては、2024年10月5日(土)に開催される「玲瓏の水合唱祭」があります。審査対象ではない枠で期を問わない女声有志団体として参加予定です。その直前にはレッスンの回数が月2回ほどに増えます。

※2024年5月現在、「黎明」「数珠かけ鳩」の音取りまで終わっています。

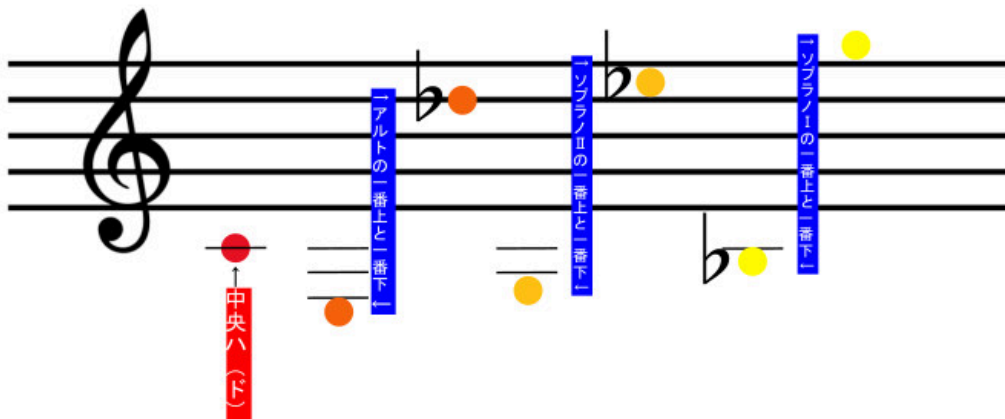
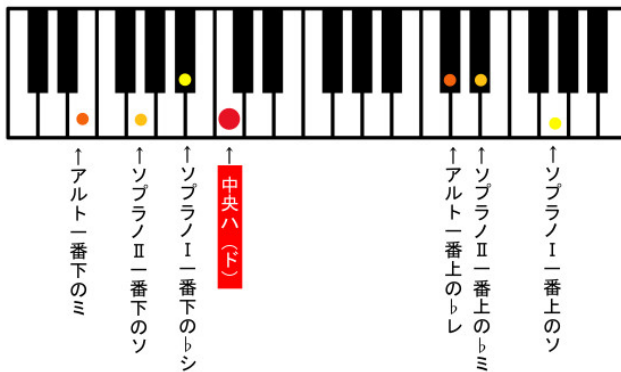
音取り用の音源は用意しております。

Q12 自分はどのパートがちょうどいいのかが分かりません。

A12 レッスンでお声を聞かせてください。無理のない音域で歌えるパートをいっしょに考えましょう。目安として、『女声合唱版 白き花鳥図』でいいますと、それぞれの音域は以下になります。※現在、特にメゾソプラノ大募集中です。

(II 数珠かけ鳩 V老鶏 VI白鷺 は、混声合唱版とは調が異なります)

- ◆ソプラノⅠは、 b シ～ソ
- ◆ソプラノⅡ(メゾ)は、下はソ～ b ミ(下のソは「中央ハ」より下のソです。)
- ◆アルトは、下はミ～上は b レ(下のミは「中央ハ」より下のミです。アルトとしてもかなり低い音だと思いますが「数珠かけ鳩」で2回でてくるだけです)



その他の疑問について

tachikou.og.tdtk@gmail.com へメールでお問い合わせください。(40 期石川宛)